

Nさんご夫婦の
家事「ラク」



小窓やガラス戸を設けて
調理&仕事中もご夫婦で会話を楽しむ

ご主人が望んだワークスペースは、キッチンと壁を挟んだ位置に。小窓を設けているので、互いに気配を感じられます。食事の準備中に、奥様がご主人に呼びかけることも。リビングとの間もガラス戸で、中の様子がうかがえます。

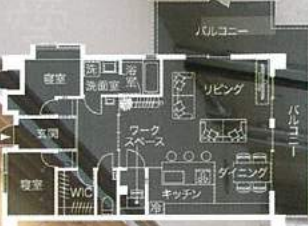
そろそろ
ご飯だよー



右/リビングの一角には、ショップのようなハンガーに服や小物、ブーツなどをディスプレイ。個室には段差を付け、床下を収納に。中/手洗い場を洗面室とは別に、玄関ホールに設置。朝の混み合う時間帯にも活躍。左/キッチン脇に設けた小窓。



Nさん宅の間取り



グリーンと洋服を
ショップのように飾る

STORY 2 「共働き」世帯 / Nさんご夫婦の場合

PROFILE Nさんご夫婦

ご主人はゲーム制作会社のデザイナー、奥様はステーションリー会社のプランナー・デザイナー。共にこだわりが強く、家づくりは互いの好みを合わせながら実現。平日は共に忙しく働くものの、休日は友人を招くことが増えたとか。

協力/nuriバージョン

Nさんご夫婦の
暮らしの「ゆとり」

暮らしを彩るグリーンは
場所を見つけながらディスプレイ

ダイニングの壁側には、細々した物を収納できるアイアンシェルフを設置。キッチンから連続したシェルフの上には、調味料や食材などと共に、グリーンが並びます。これは場所を選びながら購入し、ディスプレイしたものの。



動線と時間を短縮できる
オープンで開放的な住まい

日当たりと風通し、そして広さを求め、大きなルーフバルコニー付きのマンション物件に出会ったNさんご夫婦。リノベーションでは、バルコニー側の部屋をひとつながりのLDKにし、玄関ホールとはガラスの引き分け戸で一体的に。見通しと風通しがよく、陽光が行き渡る住まいとなりました。

濃い色のフロアリングと組み合わせるのは、黒いフレームの扉とステンレスのキッチン。奥行きのある大きなアイランド型のキッチンのリビング側には、ツールを並べ、簡単な食事や来客に対応できるようにしました。配膳や片付けの距離が少ないのは、共働きで忙しい朝の時間帯には大助かり。遊びに来る友人たちも、キッチンを囲んで話しながら手伝ってくれるそうです。

そして「アパレルショップのような雰囲気」を望んでいたご夫婦は、随所にグリーンを配したり、洋服や小物をお洒落にディスプレイ。「週末は、この住まいに何が合うか話しながら、ショップ巡りをするのが楽しみ」といいます。